

アジェンダ

気候変動と新興国：二国間クレジット制度(JCM)の役割

日時: 2017年7月26日 13:30-15:00

会場: パシフィコ横浜 Room 304

言語: 英語・日本語(同時通訳付き)

セッションアウトライン

世界各国が国別目標(NDCs)の実施、また、温室効果ガス(GHG)の排出量削減に向け対策を強化するなか、都市や民間企業等、様々なステークホルダーが低炭素プロジェクト促進に向け革新的方法を模索している。このような背景から、気候変動に強靱な社会の実現に、パリ協定第6条及びJCMがどのように貢献可能かを説明する事が重要となっている。本セッションでは、パリ協定第6条に位置づけられるJCMの役割と対象国におけるJCMを含む気候変動政策による低炭素投資と技術移転の促進に向けた取組みを紹介し理解を深めることを目的としている。また、国際交渉において議論される技術的事項にも焦点をおく。パリ協定のルールブックについて政策立案者の共通認識を探り、効果的な低炭素プロジェクト開発にいかにつなげるかを議論する。

セッション詳細

時間	発表タイトル・講演者
13:30-13:40	開会挨拶・海外における排出削減のカウントについて IGES 気候変動とエネルギー領域 ディレクター 水野勇史
13:40-13:45	<i>Update on the development of the JCM and IGES initiatives</i> IGES 気候変動とエネルギー領域 プログラムマネージャー 高橋健太郎
13:45-14:00	<i>Recent Development of the JCM and Contribution to NDC</i> 環境省地球環境局地球温暖化対策課市場メカニズム室長補佐 小塚 一久
14:00-14:15	<i>Kenya's Nationally Determined Contribution to the UNFCCC & status of the Joint Crediting Mechanism in Kenya</i> ケニア環境・天然資源省気候変動事務局 課長代理 オメディ・モーゼス・ジュラ
14:15-14:30	<i>Implementation of the Joint Crediting Mechanism in Thailand</i> タイ温室効果ガス管理機構レビュー・モニタリングオフィス マネージャー パウイーナ・パニハヤピチェット
14:30-14:55	パネルディスカッション モデレーター: IGES 水野勇史 パネリスト - IGES 高橋健太郎 - 環境省 小塚一久 - ケニア環境・天然資源省(MENR) オメディ・モーゼス・ジュラ - タイ温室効果ガス管理機構(TGO) パウイーナ・パニハヤピチェット
14:55-15:00	まとめ及び閉会